

町政を問う

今回の定例議会でも一般質問を行いました。質問内容は

一、観光政策について
主要な質問の要点のみをダイジェストでご報告します。

■住んでよし 訪れてよし 観光政策を問う！

平成22年度、機構改革が行われ、課、室名や、それぞれの分掌事務も変わります。産業振興課が環境産業課に変わり、商工労働係が、商工観光係に改称されて、地域経済の活性化、地域資源の活用・ブランドづくり等の「観光」施策にも重点が置かれたことになりました。

埼玉県は、1月12日、県内の観光資源を一体的にPRする「埼玉『超』観光立県宣言」を発表、市町村との連携を密にし、独自の切り口で埼玉の史跡や文化を積極的に発信していく方針を打ち出しました。具体的には、大手旅行会社

◆解説

今までの自治体の観光行政は、様々な行政サービスの中で優先順位は低かったように思われます。川越市は、マスコットを市民から公募し、時の鐘と紅赤金時のサツマイモを合体させたキャラクター「ときも」を新たに作り出した。「つばさ」効果で観光客も増えたようです。紅赤の本場産地の三芳町としては、ちょっと残念な気持ちもします。

都市間競争において地域のブランド化、イメージ化のためには、明確な将来へのまちづくりのビジョンと具体的な施策、戦略が求められます。「不況だから地域経済の活性化のために観光でもしようか」とか「観光客誘致しか町の活性化策はない」といった「でも」「しか」観光行政ではなく、明確な観光政策にもとづいた「総合行政としての観光行政」としての位置づけが必要です。

三芳町は、素晴らしい資源があるにもかかわらず、生かしきれていないように思います。小さくても、もっと輝く自治体になりうる可能性を秘めています。

とタイアップした県内旅行商品の開発や地域資源を紹介する人材育成講座を開催します。11月には、全市町村のご当地キャラクターや「ゆるキャラ・サミット」を開きます。

すでに観光行政については一般質問を行ってきましたが、こうした県の施策にリンクさせて当町の、今後の観光政策について提案も含め、質問を行いました。

《質問》 埼玉県が進めている「ご当地キャラクターゆる玉応援団」「みらいくん」が入団するのかわ。

《答 産業振興課長》 「水の雫」をイメージして本町生誕百年事業で作成。配水塔、消火栓のふた等使用され認知されているので入団を考えている。

《質問》 B級グルメの開発は。《答 産業振興課長》 サツマ団子を味付して現代の嗜好にあったものに復刻するなど考えていきます。

《質問》 すぐできるツイッター、ユー・チューブで観光サイトの充実。《答 産業振興課長》 情報発信

■予算関連質問

平成22年度一般会計予算で質問させていただいた中から何点かご報告します。

●保存樹木診断について

《質問》 一昨年、保存樹木の損害賠償保険について一般質問を行った。それに基づいて保存樹木診断委託料100万円を計上しているが内容は。

《答》 アンケート結果をもとに報償費をなくし、事前の枯れ枝落下防止等安全を確保するために樹木診断を行うことにした。

※保存樹木の診断費の単価が高く、診断後の所有者への対応に課題を残しています。また、高木剪定の要望が多くあります。また、今後の検討課題になっています。保存樹木が様々な理由で伐採されてしまう流れは変わらず、今後、植林や保存樹木を増やす政策も求められると思います。

●農業振興費について

《質問》 農業改善を目的にした機械・施設等の整備を行う補助事業は、2戸以上の組織が対象であったが、認定農業者であったら1戸であっても可能になった。所

する媒体として関係課と検討したい。

《質問》 以前質問したフィルムコミッションの検討結果は。

《答 産業振興課長》 埼玉県のロケ地に庁舎及び近隣を登録したい。フィルムコミッションに関しては、ロケ班への協力等で業務量が増大するので設立は慎重に検討したい。

《質問》 企業の多い当町で工場見学、職人体験を楽しむ産業観光の推進は。

《答 産業振興課長》 企業によつては衛生安全面等理解が必要。

《質問》 「富の川越いも」の更なるブランド化に日本一長い畝で日本一のいも掘り祭り等の考えは。

《答 産業振興課長》 川越いも振興会と協議し、協力がないと難しい。

《質問》 グリーンツーリズムの推進は。

《答 産業振興課長》 埼玉県が委託契約した旅行代理店による体験型商品を推進。また産業観光グループで検討している農業体験の活動も支援し、理解を広げたい。

《答》 認定農業者への補助内容については検討していきたい。※認定農業者の認定期間は5年間。この間、自治体は認定農業者の農業経営改善計画の状況を、毎年あるいは最低中間年に書類提出、聞き取りその他の適切な方法により把握することが求められています。認定農業者の1戸への補助を実施するには、補助金の公平性、透明性の観点から今までの行政のチェックとケアが必要になります。

《質問》 三芳町の図書館の個人貸出数は非常に多く、読み聞かせ、ブックトーク等先進的な事業を実施している。しかし、臨時職員、ボランティアの方々を支えられている現状があり、有資格者の採用等により、将来の後継者の育成も必要では。

《答》 前向きに検討していきたい。

《質問》 学力テスト73%参加、三芳は《質問》 全国学力テストは、政権交代で抽出方式が変わった。しか

※緑豊かな農山村で、自然の心地よさや人々のあたたかさを感じながら、余暇をのんびりする体験型旅行。

《質問》 イギリス発祥の森林や田園、街並みなど、ありのままの風景を楽しみながら歩く「フットパス」の推進は。

《答 産業振興課長》 参加者のマナーなど課題があると考える。

※イギリスを発祥とする「森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと【Foot】ができる小径(こみち)【Path】のこと。フットパス整備は、観光振興の側面のみならず、整備のプロセスそのものが地域が地域自身を見つめなおし、自らのよさに誇りを持つとともに、抱える課題に向き合っていく、まちづくりのきっかけとなります。地域ブランディングにする自治体も増えています。



藤久保公民館前の「みらいくん」

し「学力向上の取り組みに必要」と希望参加を含めると全国の73%の小中学校が参加。三芳は希望参加していないが、保護者等の意見は聞いたのか。

《答》 入間東部地区の学力テストで代替するが、保護者には参加希望は聞いていない。

《質問》 第4次総合振興計画の見直しにあたり住民意識調査を実施するが、都市計画マスタープランも見直し年にあたる。道路整備の方針、北永井地域拠点づくり、近世開拓史資料館跡地利用等の検討は。

◎議会報告会を開催

4月25日(日)に第2回目の議会報告会を開催いたします。報告内容は、平成22年度一般会計、特別会計予算、委員会報告、意見書、議会基本条例、議員政治倫理条例策定経過報告等です。

会場は、中央公民館、藤久保公民館、竹間沢公民館の3館で議員が3班に分かれて行いますので、なるべく最寄りの公民館にお越し下さい。時間は午後1時30分から午後3時30分。